

議 事 概 要

| | |
|-----|--------------------|
| 目 的 | 第1回尾鷲市総合計画審議会 部会協議 |
|-----|--------------------|

| | |
|-----|--------------------------|
| 日 時 | 平成28年6月3日(金) 20:10~21:00 |
|-----|--------------------------|

| | |
|-----|-------------|
| 場 所 | 本庁3階 第1委員会室 |
|-----|-------------|

| | |
|-------|------|
| 部 会 名 | 第5部会 |
|-------|------|

| 内 容 |
|---|
| <p>○出席者 委員：北村 清陽、塩津 史子、中西 加津代、民部 清宏、村瀬 晃健 市：環境課 竹平課長、福屋補佐、木のまち推進課 森本補佐、建設課 上村課長、水道部 尾上部長、高浜総務係長、市長公室 濱口主任主事</p> <p>○主な協議等内容</p> <ul style="list-style-type: none">・部会長 村瀬 晃健 氏・次回開催日 平成28年7月5日(火) 19時～・質疑応答 以下のとおり <p>委員 目標は前期の5年間で、10年間の管理ではないということでしょうか。</p> <p>濱口主任主事 5年間の目標値であり、今後、次の5年間を決めていく必要がある。</p> <p>委員 目標値が重要になりますね。</p> <p>濱口主任主事 三重大学の先生からの厳しい指摘もある。</p> <p>委員 施策511の林地面積について、既に達成しているが、ここからのモチベーションをどうするのかということもある。</p> <p>委員 目標の補正はしないのか。</p> <p>濱口主任主事 毎年毎年、指標の補正は行っていない。前回の審議会で5年間ということを設定している。</p> <p>委員 5年前も委員だったが、6300haで良いのかどうかという議論があった。</p> <p>濱口主任主事</p> |

この辺りを中心に議論していければ良いと思う。具体的な部分は専門的にやっている課も同席しているので、意見を聞くこともできる。

森本補佐

6300haが妥当かどうかは当時のことがわからないが、モチベーションという意味では、達成したので事業が停滞することはない。今のペースを維持して進めていくべきと担当課としては考えている。

委員

管理されている林地面積というのは、増えているのは所有者が不明であったものを確定して管理しているということか。

森本補佐

通常の森林制御のサイクルに近づけるという意味合いを目標にしている。尾鷲市の森林面積が管理されてくれば100%となるが、植有林だけではなく、原生林があるので100%は難しい。

委員

管理水道普及率は高い数値だが、最近、尾鷲の水がまずくなった。それはどういったことが考えられるか。

尾上部長

配水管の老朽化等の理由が考えられるが、尾鷲の施設は40年前のものだが、計画的に更新を進めている。

委員

飲食店をやっているが、甘みがなくなった気がする。

尾上部長

安全な水の基準に基づき、安全でおいしい水を提供できるよう今後も進めていきたい。

委員

水道の市民アンケートで重要度が26年に下がって27年に上がっているが、どういったことになっているのか。

濱口主任主事

まず、市民アンケートについて、1000人無作為抽出である程度の市民の意向が反映され、統計学等により、一定の数値をとれば市民の意見が収束することとなっているが、年により若干の誤差はでてくると考えられる。

委員

断水とかではないのか。

尾上部長

旧町内側では大きな断水はないが、輪内側では断水があったため、特別な事情を受けた方がアンケート対象者になった場合は、そういったことが考えられる。

濱口主任主事

アンケートについて、531の満足度については、全ての施策で一番高くなっている。また、重要度も比較的高いこともアンケートから読み取れ、施策を引き続き進めていく必要がある。

委員

都会に比べれば、尾鷲の水はおいしいということはわかるが、旧町内は良いが、輪内方面はどうかということもある。

尾上部長

旧町内も同じような形ですが、違うとすれば、上水道と簡易水道の違いがある。そうはいつでも職員が適正に管理しています。

委員

災害に強い都市施設として、保育園や小学校が進んでいるが、一番大切な市役所が進んでいないが、工業高校の跡地はできないか。

上村課長

熊本の震災からも、庁舎の耐震化は重要ということは認識している。まず、学校、保育園関係を進め、その後、市役所ということで考えている。

濱口主任主事

公共施設の耐震化計画では、短期、中期、長期と区分わけしており、短期で学校、保育園としており、市役所は中期にあてはめられている。中期は29年からとなっており、次の段階での計画となっています。

委員

震災が起きた際に、一番機能してほしい市役所がつぶれては困る。

委員

簡単な参考資料を次回にいただきたい。都市マスタープランと公共施設の耐震化方針について。

濱口主任主事

次回会議の際に用意させていただきます。

委員

災害時の避難所を兼ねた施設であるということを踏まえてやっている。矢浜、北浦、セギヤマと3つできるが、時々、保育園ばかりという意見があるが、子は地域の宝物であることもある、避難所を兼ねた施設ということで考えていただきたい。

濱口主任主事

今回は、説明メインであったため、あまり時間がとれなかったため、次回は質疑メインで進めていきたいと思っているため、お願いします。